

自筆証書遺言の方式（全文自書）の緩和方策として考えられる例

1 遺言書本文（全て自書しなければならないものとする。）

遺 言 書

- 1 私は、私の所有する別紙目録第1記載の不動産を、長男甲野一郎（昭和○年○月○日生）に相続させる。
- 2 私は、私の所有する別紙目録第2記載の預貯金を、次男甲野次郎（昭和○年○月○日生）に相続させる。
- 3 私は、上記1及び2の財産以外の預貯金、有価証券その他一切の財産を、妻甲野花子（昭和○年○月○日生）に相続させる。
- 4 私は、この遺言の遺言執行者として、次の者を指定する。
位 所 ○○県○○市○○町○丁目○番地○
職 業 弁護士
氏 名 丙山 太郎
生年月日 昭和○年○月○日

平成31年2月1日

住所 東京都千代田区霞が関1丁目1番1号

甲 野 太 郎



- * 自筆証書遺言には、日付（年月日）氏名を自書して押印があることを確認する。
- * 押印は必ずしも実印である必要はない。
- * 検認手続きが済んでいるかの確認方法として、検認証明書の提出を求めなければならない。
- * 遺言書本文は、すべて自書されていることを確認する。
- * 遺言書本文とは別に目録がある場合、同時に提出を求めなければならない。

2 別紙目録（署名部分以外は自書でなくてもよいものとする。）

物 件 等 目 録

第1 不動産

1 土地

所 在 ○○市○○区○○町○丁目
地 番 ○番○
地 積 ○○平方メートル

2 建物

所 在 ○○市○○区○○町○丁目○番地○
家屋番号 ○番○
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺 2階建
床 面 積 1階 ○○平方メートル
2階 ○○平方メートル

3 区分所有権

1 棟の建物の表示

所 在 ○○市○○区○○町○丁目○番地○
建物の名称 ○○マンション

専有部分の建物の表示

家屋 番号 ○○市○○区○○町○丁目○番の○○
建物の番号 ○○
床 面 積 ○階部分 ○○平方メートル

敷地権の目的たる土地の表示

土地の符号 1
所在及び地番 ○○市○○区○○町○丁目○番○
地 目 宅地
地 積 ○○平方メートル

敷地権の表示

土地の符号 1
敷地権の種類 所有権
敷地権の割合 ○○○○分の○○○

第2 預貯金

1 ○○銀行○○支店 普通預金

口座番号 ○○○

2 通常貯金

記 号 ○○○

番 号 ○○○

甲 野 太 郎



*別紙目録については、自書によらなくても良い。

（例：パソコンによる作成や遺言者以外の者による作成でも OK。

不動産の登記事項証明書の添付や通帳・証書のコピーでも OK。）

*自書によらない財産目録を添付する場合、すべての頁に被相続人の署名・押印があることを確認する。